

「東京青山68」第26回ウォーキングの会

去る11月13日（水曜日）に「東京青山68」の恒例の秋季ウォーキングを行いました。当初予定していた時刻よりやや遅れて13時過ぎに品川駅を出発しました、今回のウォーキングは旧東海道の第一宿場町として栄えた品川宿を、往時を偲びながら神社仏閣を参拝し、大森の鈴ヶ森刑場の跡までのんびり歩くコースを設定しました。

先ず、最初に見学したのは品川の発展に大きく寄与した船泊まりと鯨塚。かつては海上交通の要であった船泊りも、今は埋め立てが進み、観光用の屋形船が数艘停泊しているだけで往時の繁栄した面影は残っていません。

鯨塚の由来は、江戸時代に品川沖に鯨が迷い込み、その鯨を捕らえ、将軍の上覧に供した後、庶民の見世物としたところ大変な評判になりました。死んだ後に鯨の骨を利田（かがた）神社境内に埋め、その上に建てられたのが鯨塚です。又、利田神社近くの台場小学校正門前には、江戸末期に諸外国からの襲来に備え、江戸湾を防備するための砲台跡が残されていますので、ついでに見学しました。

街道筋に戻り、時々休みを入れながら、のんびりと流民叢塚（行き倒れ等、身元不明の死者を吊う）と銀杏の古木が残っている「法禅寺」、旧品川本陣跡（現在は聖跡公園）、虚空蔵菩薩を祀っている「養願寺」をお参りし、南品川の鎮守である荏原神社を参拝しました。次に北品川の鎮守で、源頼朝が創建した「品川神社」に行き、記念撮影。



石段（男坂）を登り、富士塚を巡り本殿に行って参拝した後、本殿裏手にある板垣退助夫妻のお墓をお参りし、女坂を下り大分の中津城主奥平家の墓地で荘厳な五輪塔がある清光院に行って一休み。

空模様が急に怪しくなり、晩秋には珍しい夕立のような雨が降り出し、その上、皆の歩きも鈍くなり、疲れた様子をはっきりしてきましたので、急遽予定を変更し、予定していた品川寺（ほんせんじ）、海雲寺、土佐藩が築いた浜川砲台、処刑される罪人と親族の最後

の別れになった涙橋、そして江戸時代の刑場「鈴ヶ森刑場」跡は次の機会に譲ることにし、急遽「青物横丁駅」から「大森海岸駅」まで電車で移動しました。

懇親会は大森駅海岸駅近くの中華料理店「菜香園」で和気藹々、16時40分から19時近くまで行いました。

今回の参加者は次の通りです。(敬称略)

阿部尚武、岡部雄士、折居迪子、上村嶺子、木伏靖幸、久保田幸郎、熊谷尚武、小林勲、斉木利昭、斉藤健弥、斉藤正果、下田桂子(幹事)、田村武次、田中誠司、中村輝夫、福富優子、冬木洋子、村山隆男(幹事)、森恭也、若井省吾、渡邊哲、渡邊泰彦、渡邊公夫(幹事) 以上23名。

なお、懇親会出席者は19名でした。又、今回は幹事以外の皆さんにもいろいろお手伝いして頂きました。心から御礼、感謝申し上げます。

以上
(渡邊公夫記)